

総合福祉センターの整備に関する 検討会（第2回）

令和3年3月25日（木）
調布市行政経営部・福祉健康部

総合福祉センターの整備に関する検討会

- 第1 総合福祉センターの整備に関する検討会(第1回)の実施概要等・・・・・・・・ 3ページ
- 第2 総合福祉センターの整備に関する考え方(素案)イメージ・・・・・・・・ 7ページ
- 第3 各項目の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19ページ



第1

総合福祉センターの整備に関する検討会（第1回） の実施概要等

- 1 実施内容
- 2 意見交換の総括（6つの視点）
- 3 今後の検討会のスケジュールイメージ

1 実施内容

① 開催日時：令和2年12月22日（火）

② 主な検討項目

総合福祉センターの整備に関する市の考え方（現状と課題，基本コンセプト，主要な機能と規模の検討イメージ，移転先候補，整備スケジュール等）の説明，意見交換等

【検討項目（詳細）】

- 1 検討会の目的・位置付け
- 2 地域共生社会の基本的な考え方
- 3 公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進
- 4 総合福祉センターの現状と主な課題等
- 5 整備の考え方
- 6 京王多摩川駅周辺地区まちづくりについて
- 7 今後の整備スケジュール等について

第1 総合福祉センターの整備に関する検討会（第1回）の実施概要等

2 意見交換の総括（6つの視点）

地域共生社会の理念に基づく整備の基本コンセプトに加え、第1回検討会で議論のあった主な意見の総括を整備に関する検討の基本的な「6つの視点」として位置付け、今後、「総合福祉センター整備に関する考え方（素案）」の策定に向けた検討を行う。

【6つの視点】

地域共生社会を実現するための総合的な福祉の拠点
〈基本コンセプト〉

検討区分

場所
(移転先候補)

① 移転・更新（移転先候補）
総合福祉センターの移転に絶対反対という意見はなかったため、京王多摩川駅周辺への移転は、選択肢としてあり得ると合意ができた

主要な機能等

② 新たな総合福祉センターの機能充実等
移転をしたら、今の機能を維持することはもとより、プラスの機能を付け加えて、移転をして良かったとだけ思っていたらダメにするべきである

③ 災害対応
特に障害のある方が避難できるような防災の拠点となる場所を検討してほしい

④ 利便性の確保
電車の乗り換えが大変な視覚障害者や車いすの方への移動手段の確保など、アクセシビリティ（交通の便、利用しやすさ等）が重要である

京王多摩川駅
周辺まちづくり

⑤ 京王多摩川駅周辺のまちづくり
京王多摩川駅周辺への移転・整備は、移転先候補の民間開発事業者(京王電鉄株式会社)との折衝・交渉が重要である

⑥ 調布駅周辺の福祉機能
移転に当たっては、調布駅前に総合福祉センターの機能の一部を残してほしい

第1 総合福祉センターの整備に関する検討会（第1回）の実施概要等

3 今後の検討会のスケジュールイメージ

整備に関する考え方の取りまとめ時期の延期について

令和2年度末の取りまとめを予定していた「整備に関する考え方」を令和3年度上半期を目途として取りまとめることとしました。

	3月	令和3年度上半期
整備に関する考え方の策定		
総合福祉センター検討会		

「総合福祉センターの整備に関する考え方」策定までの主な流れ

① 検討会での意見聴取、検討等

② 【市】検討会の結果等を踏まえて「考え方（素案）」を作成

③ 【市】パブリック・コメント

④ 【市】パブリック・コメント等を踏まえて「考え方」を策定

第2

総合福祉センターの整備に関する考え方（素案） イメージ

- 1 総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージの構成
- 2 基本コンセプト（案）
- 3 場所（移転先候補）（案）
- 4 主要な機能等（案）
- 5 京王多摩川駅周辺のまちづくり（案）
- 6 整備スケジュール（案）

第2 総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージ

1 総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージの構成

章		節
総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージの構成 整備に関する基本的な考え方・策定の目的		
第1章	地域共生社会の実現に向けた基本的な取組	1節 地域共生社会とは 2節 調布市における地域共生社会の実現に向けた取組 3節 地域共生社会の実現に向けた取組と総合福祉センターの整備の推進
第2章	公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進	1節 市の公共施設を取り巻く課題 2節 公共施設マネジメントの取組
第3章	総合福祉センターの今後の方向性	1節 これまでの主な検討経過 2節 計画上の位置付け 3節 現状と主な課題 4節 今後の方向性
第4章	総合福祉センターに関する整備の考え方	1節 基本コンセプト（案） 2節 場所（移転先候補）（案） 3節 主要な機能等（案） 4節 京王多摩川駅周辺のまちづくり（案） 5節 整備スケジュール（案）

2 基本コンセプト（案）

《地域共生社会を実現するための総合的な福祉の拠点》

- ① 交通利便性に配慮しつつ、既存の総合福祉センターの基本機能に医療・高齢活動支援等の機能を加えた総合的な福祉の拠点
- ② 地域福祉コーディネーターや民生委員，ボランティアなど，支え合い活動や情報発信の拠点
- ③ 地域の住民が気軽に立ち寄れるようなロビーや福祉ショップの設置など，地域に開かれた親しみやすい福祉の拠点

機能整備に関する4つの考え方（案）

- ① 総合福祉センター基本機能の維持・向上
- ② 周辺福祉施設機能の集約・複合化
- ③ 地域共生社会づくりの拠点にふさわしい将来を見据えた機能改善の検討
- ④ 災害対応・ユニバーサルデザイン・利便性向上

視点① 移転・更新（移転先候補）

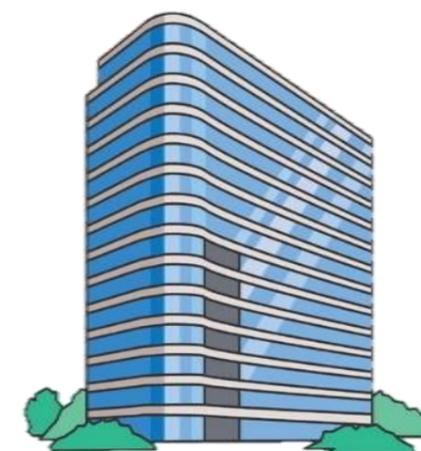
3 場所（移転先候補）（案）（整備の考え方）

○総合福祉センターは、利用者の利便性をはじめ、安定的かつ継続的な福祉サービスの提供が不可欠であることから、このことを前提として、これまで調布駅近傍はもとより、市内における様々な民有地・公有地等について、移転候補としての可能性を模索してきた。

市内の民間主体の開発予定エリア（例）

- 京王多摩川駅周辺地区における民間開発
- 国領地区における福祉インフラ整備事業（都用地活用）
- 多摩川住宅地区における住宅福祉複合地区

○現行総合福祉センター機能に加えて、周辺福祉施設機能の集約・複合化に必要な用地や床面積を早期に確保していく必要があるため、令和元年11月に京王電鉄株式会社から市に対してまちづくりの提案のあった京王多摩川駅周辺地区における駅前複合拠点地区を最有力候補として、引き続き、移転先候補の選定に向けて、関係者との協議・調整を行っていく。



3 場所（移転先候補）（案）

【第1回検討会でいただいた主な御意見】

視点① 移転・更新（移転先候補）

- 総合福祉センターの移転に絶対反対という意見はなかったため、京王多摩川駅周辺への移転は、選択肢としてあり得ると合意ができた。
- 他の候補地の中であれば京王多摩川が一番良い。京王多摩川の現状として、人の行き来も少なく、生活の基盤となるお店も少なくなっているため、総合福祉センターの移転を機に、活気のあるまちになると期待している。



第2 総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージ

4 主要な機能等（案）（整備の考え方）

視点② 新たな総合福祉センターの機能充実等

(1) 基本機能

機能	規模の検討イメージ
地域福祉活動の拠点	現行機能の維持を基本としつつ、必要な床面積の確保 必要な機能改善の検討
高齢者の活動の支援	
障害者の相談・就労・活動の拠点	
生活困窮者相談支援の場	
家庭事情等による子ども・若者の居場所・学習支援・相談機能	
災害時等におけるボランティア活動の支援機能	
共用部分（駐車場や機械室，廊下等）	効率的な配置による床面積抑制

(2) 集約・複合化を検討している周辺福祉施設機能

休日・夜間診療等の拠点に関する機能の拡充及び集約複合化	現行機能の維持を基本として、必要な床面積の確保
高齢者の健康づくり・生きがいづくりに関する機能の集約・複合化	

(3) 基本機能及び集約・複合化を検討している周辺福祉施設機能

(1) + (2)	現行機能の維持を基本として、機能面で必要な床面積は確保しつつ、共用部分の効率的な配置により床面積全体の抑制を検討 併行して必要な機能改善を検討
-----------	--

(4) 施設構成（機能配置）の検討イメージ

施設構成（機能の配置）は、敷地条件や権利関係、整備及び管理運営コスト等の観点から、現行総合福祉センター機能の移転や周辺福祉施設機能の集約・複合化に必要な用地や事業床を踏まえて多角的に検討

4 主要な機能等（案）（整備の考え方） ※続き

視点② 新たな総合福祉センターの機能充実等

① 総合福祉センター基本機能の維持・向上

各機能について、上下移動の少ない2フロアーに機能を集約し、現行機能の維持を基本として一部拡充も含め床面積を確保するとともに障害者等に配慮した3mの廊下幅員（現状2.5m）の確保、駐車場や屋根のある車寄せの設置など基本機能を向上

② 周辺福祉施設機能の集約・複合化

休日・夜間診療等の拠点に関する機能の拡充及び集約・複合化や高齢者の健康づくり、生きがいづくりに関する機能の集約・複合化による総合福祉センター機能の充実・強化

③ 地域共生社会づくりの拠点にふさわしい将来を見据えた機能改善の検討

相談室や集会室の充実など、様々な市民が利用できる施設として、地域の福祉拠点機能を強化

視点③ 災害対応

浸水対応・福祉避難所に関する考え方（案）

- ・ 浸水想定を踏まえ2階以上に総合福祉センター等機能を設置
- ・ 風水害時における発災前から発災後の段階ごとの課題分析を踏まえ、発災前から発災後の総合福祉センター機能の確保、及び福祉避難所の確保など災害時の対応策を検討

4 主要な機能等（案）

【第1回検討会でいただいた主な御意見】

視点② 新たな総合福祉センターの機能充実等

- 移転をしたら、今の機能を維持することはもとより、プラスの機能を付け加えて、移転をして良かったとだけ思っていたようにするべきである。
- 全ての機能を集約するのではなく、地域共生社会の理念のもと、エリアがあってそこで活動できるようランチを整備することも検討する必要がある。
- 誰もが利用できるような公共性の高い施設が入ると良い。

視点③ 災害対応

- 多摩川に近い地域であるため、心配な点もある。特に障害のある方が避難できる防災の拠点となる場所を検討してほしい。

第2 総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージ

5 京王多摩川駅周辺のまちづくり（整備の考え方） ※続き

視点④ 利便性の確保

① 災害対応・ユニバーサルデザイン・利便性向上

京王多摩川駅改札から最も至近距離にある棟への総合福祉センター機能の移転に加え、道路の段差解消など、まちづくり全体でユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮

視点⑤ 京王多摩川駅周辺のまちづくり

○現行総合福祉センター機能に加えて、周辺福祉施設機能の集約・複合化に必要な用地や床面積を早期に確保していく必要があるため、令和元年11月に京王電鉄株式会社から市に対してまちづくりの提案のあった京王多摩川駅周辺地区における駅前複合拠点地区を最有力候補として、引き続き、移転先候補の選定に向けて、関係者との協議・調整を行っていく。

視点⑥ 調布駅周辺の福祉機能

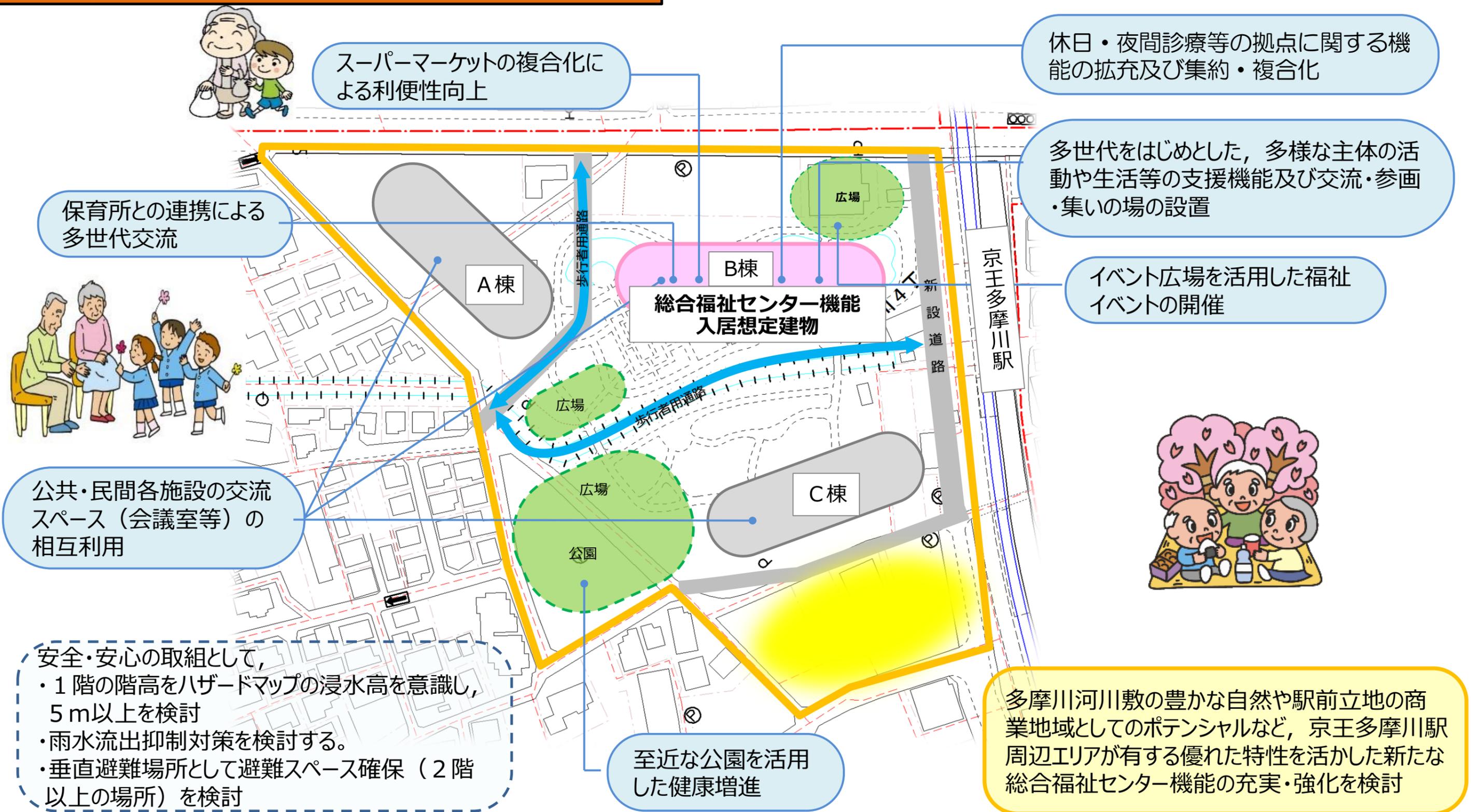
調布駅周辺の福祉機能に関する考え方（案）

- ・ 交流・居場所機能や福祉機能等の一部について、調布駅周辺に確保することを検討

第2 総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージ

5 京王多摩川駅周辺のまちづくり（案）（整備の考え方） ※続き

視点⑤ 京王多摩川駅周辺のまちづくり



5 京王多摩川駅周辺のまちづくり（案）

【第1回検討会でいただいた主な御意見】

視点④ 利便性の確保

- 電車の乗り換えが大変な視覚障害者や車いすの方への移動手段の確保など、アクセシビリティ（交通の便，利用しやすさ等）が重要である。
- 京王多摩川駅については，エレベーターの台数やホームの形状の問題などにより，使い勝手が悪いと感じている。
- 調布駅から移転先の総合福祉センターまでシャトルバスを運行する必要があると思う。

視点⑤ 京王多摩川駅周辺のまちづくり

- 京王多摩川駅周辺への移転・更新に当たっては，移転先候補の民間開発事業者(京王電鉄株式会社)との折衝・交渉が重要である。

視点⑥ 調布駅周辺の福祉機能

- 移転に当たっては，調布駅前に総合福祉センターの機能の一部を残してほしい。
- 社会福祉協議会の出先機関とした意味合いも残してほしい。

第2 総合福祉センターの整備に関する考え方（素案）イメージ

6 整備スケジュール（案）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
施設	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	基本構想（第5期）				基本構想（第6期）						
	基本計画（後期）				基本計画（前期）				基本計画（後期）		
総合福祉センター											



第3 各項目の検討

1 場所（移転先候補）

視点① 移転・更新（移転先候補）

【整備の考え方（検討案）抜粋】

- ・ 総合福祉センターは、利用者の利便性をはじめ、安定的かつ継続的な福祉サービスの提供が不可欠
- ・ これまで調布駅近傍はもとより、市内における様々な民有地・公有地等について、移転候補としての可能性を模索してきた。
- ・ 現行総合福祉センター機能に加えて、周辺福祉施設機能の集約・複合化に必要な用地や床面積を早期に確保していく必要があるため、令和元年11月に京王電鉄株式会社から市に対してまちづくりの提案のあった京王多摩川駅周辺地区における交通利便性の高い民間開発を有力地としている。

【第1回検討会での主な御意見】

- ・ 総合福祉センターの移転に絶対反対という意見はなかったため、京王多摩川駅周辺への移転は、選択肢としてあり得ると合意ができた。
- ・ 他の候補地の中では京王多摩川が一番良い。京王多摩川の現状として、人の行き来も少なく、生活の基盤となるお店も少なくなっているため、総合福祉センターの移転を機に、活気のあるまちになると期待している。

2 主要な機能

視点② 新たな総合福祉センターの機能充実等

【整備の考え方（検討案）抜粋】

○総合福祉センター基本機能の維持・向上

・各機能について、上下移動の少ない2フロアーに機能を集約し、現行機能の維持を基本として一部拡充も含め床面積を確保するとともに障害者等に配慮した3mの廊下幅員（現状2.5m）の確保、駐車場や屋根のある車寄せの設置など基本機能を向上

○周辺福祉施設機能の集約・複合化

・休日・夜間診療等の拠点に関する機能の拡充及び集約・複合化や高齢者の健康づくり、生きがいづくりに関する機能の集約・複合化による総合福祉センター機能の充実・強化

○地域共生社会づくりの拠点にふさわしい将来を見据えた機能改善の検討

・相談室や集会室の充実など、様々な市民が利用できる施設として、地域の福祉拠点機能を強化

【第1回検討会での主な御意見】

・移転をしたら、今の機能を維持することはもとより、プラスの機能を付け加えて、移転をして良かったとだけ思っただけにするべきである。

・全ての機能を集約するのではなく、地域共生社会の理念のもと、エリアがあってそこで活動できるようランチを整備することも検討する必要がある。

・誰もが利用できるような公共性の高い施設が入ると良い。

2 主要な機能

視点③ 災害対応

【整備の考え方（検討案）抜粋】

○浸水対応・福祉避難所に関する考え方

- ・浸水想定を踏まえ2階以上に総合福祉センター等機能を設置
- ・風水害時における発災前から発災後の段階ごとの課題分析を踏まえ、発災前から発災後の総合福祉センター機能の確保、及び福祉避難所の確保など災害時の対応策を検討

【第1回検討会での主な御意見】

- ・多摩川に近い地域であるため、心配な点もある。特に障害のある方が避難できる防災の拠点となる場所を検討してほしい。

3 京王多摩川駅周辺のまちづくり

視点④ 利便性

【整備の考え方（検討案）抜粋】

○災害対応・ユニバーサルデザイン・利便性向上

・京王多摩川駅改札から最も至近距離にある棟への総合福祉センター機能の移転に加え、道路の段差解消など、まちづくり全体でユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮

【第1回検討会での主な御意見】

・電車の乗り換えが大変な視覚障害者や車いすの方への移動手段の確保など、アクセシビリティ（交通の便、利用しやすさ等）が重要である。

・京王多摩川駅については、エレベーターの台数やホームの形状の問題などにより、使い勝手が悪いと感じている。

・調布駅から移転先の総合福祉センターまでシャトルバスを運行する必要があると思う。

3 京王多摩川駅周辺のまちづくり

視点⑤ 京王多摩川駅周辺のまちづくり

【整備の考え方（検討案）抜粋】

○民間開発事業

- ・京王多摩川駅周辺地区における交通利便性の高い民間開発を有力地として、引き続き、移転先候補の選定に向けて、関係者との協議・調整を行っていく。

【第1回検討会での主な御意見】

- ・京王多摩川駅周辺への移転・更新に当たっては、移転先候補の民間開発事業者(京王電鉄株式会社)との折衝・交渉が重要である。

3 京王多摩川駅周辺のまちづくり

視点⑥ 調布駅周辺の福祉機能に関する考え方

【整備の考え方（検討案）抜粋】

○調布駅周辺の福祉機能に関する考え方

- ・交流・居場所機能や福祉機能等の一部について、調布駅周辺に確保することを検討

【第1回検討会での主な御意見】

- ・移転に当たっては、調布駅前に総合福祉センターの機能の一部を残してほしい。
- ・社会福祉協議会の出先機関とした意味合いも残してほしい。

ご清聴ありがとうございました

